



あいなん逸品図鑑 その⑨



「ひめの凜^{りん}(米)」

水稲農家

山本 邦男^{くに お}さん (増田)



愛媛CATV
動画



▲45アールの田んぼをコンバインを運転し、稲刈りをしていく山本邦男さん。



▲「愛」あるブランド産品は、厳選された県内産の品質に優れたものが選ばれています。

増田地区で40年ほど前から農業に取り組み、愛媛県が開発した新品種のお米“ひめの凜”を栽培している山本邦男さん。

“ひめの凜”は、平成30年に愛媛県農林水産研究所が育成した品種で、稲としては背が低いため大風や大雨でも倒れづらいのが特徴です。栽培方法は従来の品種と同じにもかかわらず、収穫性に優れています。また、今年の9月にはえひめ愛フード推進機構が認定する「愛」あるブランド産品に選ばれるほど味も品質も良く、「以前からあった品種よりも、味も育ちも良いと聞いたので栽培を始めた」と栽培に着手したきっかけを話します。

栽培期間は5月下旬から10月上旬で、収穫までの間除草や消毒を行っています。昨年は初めての栽培だったので思ったほどの収穫量がありませんでしたが、「今年は出来が良く、収穫量も予定どおりの量が収穫できそう」と安堵の表情を見せる山本さん。しかし、今年は例年より気温が高めだったので、「水の管理が大変だった。常に水を出さないといけなかった」と苦労を話します。

お米を食べた方の評価については、「知り合いから分けてくれないだろうか」と言われるくらい上々です。出荷先については、主に農協に卸しており、一部をフレッシュ本松と道の駅みしょうMICで販売しています。

今後について、「できたばかりの品種で、全国での知名度がまだまだ低いので、需要と供給のバランスが取れていない。しっかりとバランスが取れるようにがんばりたい」とやる気は十分です。

あいなん逸品図鑑 過去の動画

令和2年度分はこちら↓



愛南町
ホームページ

令和元年度分はこちら↓



愛南町
ホームページ

投稿 写真

写真
募集中!

読者(町民)の皆さまが町内で撮影した写真を掲載します。

町の伝統芸能や催し、風景、特産品など、愛南町の魅力を伝えられる写真(おおむね1カ月以内に撮影したもの)に説明文を添えて投稿してください。投稿方法など、詳しくは町ホームページをご確認ください。



愛南町
ホームページ

|| 問：総務課 電話：72-1211